

# 筆兵無傾バランスゲーム



日本机戦連盟 (@cet2kaik)

巾丈ノ (クワカウムーンアウム：筆兵無傾) は「事務職と現場職の均衡」という意味の単語で、アイル共和国の国の標語にもなっています。このゲームでは、プレイヤーは「良き官僚」となってシーソーにバランスよく駒を置いていきます。しかしプレイヤーの中にはこの均衡を乱そうとする「国壊し人」がいます。無事に裏切り者を見つけることができるでしょうか？

## 内容物

### ・説明書 (この冊子)

### ・駒 (12個)

職種	「筆」の駒 (6つ)	「兵」の駒 (6つ)
見た目		

底面に数字が書かれており、以下の構成である。

筆	1	1	2	3	4	4
					×	×
兵	1	1	2	3	4	4
					×	×

1は5としても使うことができる<sup>1</sup>。どちらの数として使いたいかは駒を出すときに宣言しなければならない。

## ゲームの目的

### 「良き官僚」

- 一人を除いたプレイヤーの全員が手駒すべてを置き切るあるいは
- 「議論フェイズ」で「国壊し人」が誰かを当てる

### 「国壊し人」

- 「議論フェイズ」で「国壊し人」であると指名されない

## ゲームの流れ

### 「セットアップフェイズ」

- シーソーを机などに置く
- 以下のようにカード束を作って役職カードを配り、各プレイヤーは密かに自身の役職を確認する。  
(余った1枚は使わず、裏向きのまま置いておく。)

	3人	4人	5人
「良き官僚」	3枚	4枚	4枚
「国壊し人」	1枚	1枚	2枚

- スタートプレイヤーを決める。
- スタートプレイヤーから順番に以下を行い、袋から駒がなくなるまで繰り返す。このとき、

駒を1つ袋から取り出し、数字が見えないように駒を立てて自分の手駒とする。このとき駒の種類を選んで서는ならない。駒を一つ取ったら隣のプレイヤーに袋を渡す。

### 「メインフェイズ」

- メインフェイズではラウンドが繰り返される。

### ラウンド



- スタートプレイヤーから順に数字を宣言しながら駒を1つ出す。
- 全員が駒を出したら全員の駒の強さを比べ、1位プレイヤーと2位プレイヤーを決める。強さの決め方は以下の通り。

### 強さの決め方

同じ数字がある場合、それらを無視する。  
無視されない数のうち、最大の数を出したプレイヤーが1位、次に大きい数を出したプレイヤーが2位である。

- シーソー (ストッパー用の厚紙を差し込んで組み立てて下さい)

### ・役職カード

「良き官僚」 (4枚)	「国壊し人」 (2枚)
	

- 1位プレイヤーは以下のアクションのいずれかまたは両方を行う。  
(好きな順番で行ってよい)

- 【配属】 1位プレイヤーの出した駒と2位プレイヤーの出した駒をシーソー上に置く
- 【登用】 シーソー上の駒を一つ回収し、手駒に加える。  
あるいは、  
【左遷】 シーソー上に手駒から追加で駒を置いて、駒を1つゲームから除外する。(左遷) (シーソー上の駒でもラウンドで出された駒でも誰かの手駒でもいい)

駒を置く際、以下の制限がある。

- 真ん中の黒く塗られ、「罟罟」(スタート時)と書いてある場所は、シーソーの上に駒が1つも乗っていないときにだけ置ける。
- 「筆」の駒は「筆」マークのある側、「兵」の駒は「兵」マークのある側にだけ置ける。
- 駒は片手で一つずつ置く。シーソーを片手で支えながら置いたりなどしてはならない。

- 1位プレイヤーはラウンドで出された駒のうち、1つを選んで回収し、手駒に加える。
- 2位プレイヤーも同様に、ラウンドで出された駒のうち、1つを選んで回収し、手駒に加える。

シーソーから駒が落ちたら即座に「議論フェイズ」を始める。

シーソーから駒が落ちることなく一人を除いたプレイヤーの全員が手駒すべてを置き切った場合、「良き官僚」の勝利となる。

### 「議論フェイズ」

- 2ホアーツオー (約2.9分) 「国壊し人」を探す議論を行う。  
議論終了後、同時に指差し投票を行い、最多得票者が「国壊し人」である場合「良き官僚」の勝利となる。そうでない場合、「国壊し人」の勝利となる。最多得票者が複数いる場合、「良き官僚」の勝ちとなる。

複数回 (3回など) ゲームを行う場合は以下の得点を用いる。

シーソーから駒を落とした「良き官僚」… -1点  
シーソーから駒を落とした「国壊し人」… -3点  
ゲームに勝利した「良き官僚」… 2点  
ゲームに勝利した「国壊し人」… 3点

<sup>1</sup> これは1が「|」、5が「一」であるためである。